

目 次

はしがき v

第1章 日本語・日本文化	1
1.1. 自然性	4
1.2. 無常・儚さ・幽玄・枯淡	9
1.3. 無標性・多義性	15
1.4. 未完性・間接性	21
1.5. モンタージュ・点的論理・アブダクション	25
1.6. コンテキスト依存性—定型・抑制・思いやり・「間」のリズム	35
1.6.1. 定型	37
1.6.2. 抑制—我慢・機が熟するのを待つ	40
1.6.3. 思いやり	43
1.6.4. 「間」のリズム	45
第2章 俳句と「日本語・日本文化」	49
2.1. 「五七五」の定型と「間」のリズム	60
2.2. 季語と多くの暗黙の約束事	70
2.3. 切れ字と断続的連続性	83
2.4. 文語と歴史的仮名遣い	89
2.5. 結社と句会など	95

第3章 革新される俳句	105
3.1. 松尾芭蕉 (1644-1694)	108
3.2. 与謝蕪村 (1716-1783)	117
3.3. 小林一茶 (1763-1827)	124
3.4. 正岡子規 (1867-1902)	133
3.5. 近現代俳句	147
第4章 ハイクと異文化	153
4.1. イマジズム	155
4.2. モンタージュと俳句	162
4.3. 英語ハイク	165
あとがき	179
参考文献	183
索引	191